

2018年7月6日

独立行政法人 日本スポーツ振興センター

国立スポーツ科学センターにおいて発生した事故及び原因について

日本スポーツ振興センター（JSC）が所管する国立スポーツ科学センター（JISS）の宿泊室において、今般、下記のとおり、宿泊した選手が体調不良となる事故が発生しました。

当該選手及び関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。JSCとしては、今後、施設の安全管理を更に徹底し、再発防止に努めてまいります。

1. 発生日時

平成30年7月3日（火） 未明から6時30分頃

2. 発生場所

国立スポーツ科学センター 宿泊室
東京都北区西が丘三丁目15番1号

3. 体調不良を訴えた選手

強化指定選手（男性）1名

※同選手は同日中にJISSへ戻り、現在は、回復に向かっている。

4. 発生状況及び原因

JISSの宿泊室は、低酸素宿泊エリアを有し、当該エリアの各宿泊室は、低酸素運転を行うことにより、低酸素空気を送り酸素濃度を調節することが可能となっている。

事故発生時においては、当該選手が利用していた宿泊室において、低酸素運転をしていない状態であったにもかかわらず、低酸素空気の出入りを開閉している制御装置に不具合が生じ、低酸素の空気が室内に流入したことにより室内の酸素濃度が低下した。不具合のあった宿泊室を利用していた当該選手は体調不良をコーチに連絡し、病院で診察を受けた。

5. 事故発生後の主な対応

7月3日（火）	9時	設備業者に連絡
	11時	現地対策本部設置・開催
	16時	設備業者到着、不具合状況について、点検・確認開始
7月4日（水）	11時15分	危機対策本部会議設置・開催 ※ 低酸素設備の正常運転が確認されるまでの間、低酸素宿泊利用の中止を決定
	15時	設備業者による点検・確認終了、原因判明

6. 今後の再発防止策

- ・酸素濃度を常時システムで監視し、低酸素運転を停止している部屋において、設定した基準値を下回った場合は、低酸素宿泊エリア全体の運転を自動停止させるシステムを早期に導入
- ・委託業者による表示盤監視強化など、人的なチェック体制を更に強化

【参考：JISS 宿泊室概要】

<客室数>

- | | |
|---------|------|
| ・洋室シングル | 70 室 |
| ・洋室ツイン | 1 室 |
| ・和室 | 2 室 |

このうち、低酸素濃度に設定可能な宿泊室は 67 室。

国立スポーツ科学センターウェブサイト

<https://www.jpnsport.go.jp/jiss/shisetsu/loxxygenhotel/tabid/103/Default.aspx>